

# 日本泌尿器科学会

## 第 207 回 熊本地方会プログラム

日時：令和 6 年 3 月 16 日（土）

時間：15 時 00 分～17 時 40 分

会場：ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

1 階 「若草」

住所：熊本市中央区東阿弥陀寺町 2 番地

---

### <補足>

- ◇ 1 演題につき口演時間は 7 分・討論時間は 3 分です。
- ◇ 発表形式は Windows Power Point 限定です。
- ◇ Mac など PC を持参される場合は、各自専用コード・出力端子用アダプタをご準備下さい。
- ◇ 発表データは USB メモリに保存し受付にご提出下さい。
- ◇ 会員カードを必ずご持参下さい。

- ◇（研修医を除く）地方会非会員の先生は、参加費 3,000 円を徴収します。
- ◇ 後日、熊本大学泌尿器科ホームページで演題の PDF を公開いたしますので、体調不安等ございましたら、無理なさらぬようお願いいたします。

◆ セッション 1（15 時 00 分～16 時 10 分）

座長：岩下 仁

（水俣市立総合医療センター）

1. 当院におけるボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法の臨床的検討  
谷川 史城、脊川 卓也、松永 欣也、狩野 武洋、浅山 縁、  
鍋倉 康文、井 秀隆、野尻 明弘（熊本泌尿器科病院）  
鎌田 知子（第一東和会病院）
2. 骨盤内に発生した孤発性線維性腫瘍（solitary fibrous tumor: SFT）の 2 例  
浮池 昌二郎、今川 大輔、濱田 真輔、原 一正、濱田 泰之（熊本中央病院）
3. 市中病院での尿道損傷の初期対応について考える  
今藤 淳之助、中村 圭輔、宮本 豊（熊本労災病院）
4. 外傷性尿道断裂に対して手術を行い排尿機能を温存できた一例  
石崎 宏志、眞鍋 笙之介、有菌 奈穂、濱崎 和代、浅野 篤、占部 裕巳、  
三上 洋、福井 秀幸、渡邊 紳一郎（済生会熊本病院）  
二口 芳樹（熊本総合病院）
5. 尿道下裂に対する治療経験と課題  
里地 葉、久高 麗鷹、富永 成一郎、桑原 朋広（熊本市民病院）
6. 尿道部分切除術および再建術を施行した男性尿道癌の 1 例  
井手迫 俊彦、才田 幸一郎、斎藤 朗毅、富永 充彦、川越 真理（済生会川内病院）

7. 白血病治療中のウイルス性出血性膀胱炎で治療に難渋した一例

神尾 琢克伸、高橋 えりか、東 俊之介、村上 栄敏、鮫島 智洋、矢野 大輔、  
前田 喜寛、菊川 浩明、井上 聖二郎、根岸 孝典、杉谷 浩規（熊本医療センター）

<<< 休憩（16時10分～16時20分） >>>

◆ セッション2（16時20分～17時20分）

座長：菊川 浩明

（熊本医療センター）

8. 気腫性膀胱炎の2例、

岩下 仁、愛甲 泉、三浦 太郎（国保水俣市立総合医療センター）

9. Zinner 症候群に併発した前立腺癌の1例

牧野 耕、穴見 俊樹、倉橋 竜磨、元島 崇信、村上 洋嗣、  
矢津田 旬二、神波 大己（熊本大学病院）

10. 当院における前立腺導管癌の臨床的検討

眞鍋 笙之介、三上 洋、石崎 宏志、有蘭 奈穂、濱崎 和代、浅野 篤、  
占部 裕巳、福井 秀幸、渡邊 紳一郎（済生会熊本病院）

11. アベルマブ維持療法にて有害事象なく長期間奏功を得られた膀胱癌術後局所再発の一例

久高 麗鷹、富永 成一郎、里地 葉、桑原 朋広（熊本市民病院）

12. 複数回の TUL をした同一の尿管結石にたいして、開腹尿管切石術が有効であった一例

右田 敏起、山中 広太郎、中熊 健介（人吉医療センター）

13. 同時性両側尿管癌に腎温存療法を施行した1例

笹岡 祐次、松原 顕太、近浦 慶太、山口 隆大（くまもと県北病院）

---

<<< 2023 年 会計報告 (17 時 20 分～17 時 30 分) >>>

矢津田 旬二 (熊本大学病院)

---

### ◆熊本地方会参加単位登録の手順

～参加受付から参加単位登録までの流れ～

(※受付には、日本泌尿器科学会の「会員カード」が必要です。)

- 1) 受付にて参加受付を行う。
- 2) 参加証を受け取り、記名欄に名前を記入する。
- 3) 「会員カード」の QR コードをハンディターミナルで読み取ってもらう。

※「会員カード」をお持ちでない場合は、参加証の原本をご自身の専門医（初回・更新）認定申請時期まで保管し、申請書類に貼付して下さい。会員カードを作製されていない方は、日本泌尿器科学会 WEB サイトの「よくあるご質問」ページ (<http://www.urol.or.jp/other/faq.html>) より、「Q. 初めて会員カードを作製するには…」をお読み下さい。また、参加証は、後日 WEB 上で単位が確認できるまで（約 3 カ月程度）は大切に保管して下さい。その他、ご質問(単位登録に関する質問も含む)は、日本泌尿器科学会へお問い合わせ下さい。(TEL : 03-3814-7921)